



2022-2023年度
RI会長
ジェニファー・ジョーンズ
RIテーマ
IMAGINE ROTARY

国際ロータリー第 2830 地区
八戸北ロータリークラブ 会報

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128
https://8kitarc.com/
例会日：毎週火曜日 12:30 開会

ガバナー ● 田中 常浩 会長 ● 佐々木 悦郎 幹事 ● 吉田 悦子 SAA ● 山内 一晃



4月 環 境 月 間

vol.36 第 2522 回例会 2023.4.18

12:30 ~ 八戸プラザホテル
司会：神山智子副SAA

RIテーマ
点鐘

- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

(食事)

 会長要件

佐々木悦郎会長



皆さんこんにちは。本日のテーマは財団小委員会の担当で「タイの水事業」の視察報告をしていただきます。

せっかくですのでロータリー財団について調べてきました。財団の寄付の中には、①年次基金、②ポリオプラス基金、③その他（承認済みのグローバル補助金などの補助金プロジェクトへの寄付）、④恒久基金、の4つあります。その中の年次基金は、我々が年1万円ずつ支払い、シェアシステムで地区補助金として今年度は子ども食堂へ寄付をさせていただきました。ロータリー財団は世界的にも高評価を得ており、アメリカの格付け会社チャリティーナビゲーターの審査では上位1%しかない最高ランクの4つ星を14年連続で受けております。審査ポイントは「健全な財務体質」「説明責任」「透明性のコミットメント」です。非常に効率的に運用されているのがロータリー財団ということです。

3330地区のグローバル補助金事業「タイの水事業」に3月15日から川崎委員長が地区代表として行って

きてくださいました。おかげでグローバル補助金が身近に感じられます。「ガバナー月信4月号」の川崎会員の報告を拝見しましたが、そこに書かれていないことをご紹介いただければ嬉しいです。

渋澤健さんの本にも「つながることが一番の寄付の対価です」と書かれておりました。地元だと顔が見えるのでつながることが実感できるんですが、本日のお話で、タイの水事業が我々の身近に感じられると良いと思っております。

 幹事報告

吉田悦子幹事



- ◎一葉会より新年度役員決定のお知らせ
- ◎例会終了後、臨時理事会

 親睦委員会

田村隆直会員



ニコニコBOX

源新和彦会員：早退失礼致します。
米山記念奨学金

- 千葉清彦会員：
- 小向龍悦会員：
- ポリオ・プラス
- 澤口忠彦会員：

 出席報告

本日の出席率 65.8%
前々回（4/4）の修正出席率 65.8%

タイ視察報告



グローバル補助金委員長 川崎益美会員

訪問メンバー

- ・工藤武重バスターガバナーご夫妻、ご息女
- ・佐藤健一地区財団委員長
- ・川崎益美地区補助金委員長

2012-13年に、タイの3330地区とグローバル補助金を活用した「水と衛生プロジェクト」を開始し、今年度で10周年になりました。今回、タイのウィチャイ氏（グローバル補助金担当PG）からご案内があり、RI 3330地区・地区大会参加も兼ねて訪問視察することが出来ました。

15日出発、16日0時5分に羽田空港発、バンコクに到着、その後、国内線に乗り換えてスラターニ空港へ。現地のロータリアンからお出迎えを受けました。車でさらに南下して約1時間半後、現地のRCからウエルカムランチを受けました。1時間程度交流して、さらに1時間程度南下、ナコンシータマラートに到着。

「ナコンシー・タマラート・テクニカル・カレッジ」でウエルカム・セレモニーと現地の状況の説明を受けました。高専のような感じだと思います。生徒数が4,800名、110年の歴史があるとのことでした。グローバル補助金で水の浄水器が整備され、学校だけではなく近隣地域の人々にとっても役に立っており、ロータリーにとっても感謝しているとのことでした。飲料水ペットボトルを販売予定で申請しているところでした。ここでの水の浄水事業が非常にうまくいっており、この学校がモデル校となっていて小学校の校長先生が4、5名来ていました。通常は10パーツですが、20リットル5パーツ（20円位）で販売して、飲料以外の洗浄用の水は無償で提供しているとのことでした。

17日はパートゥアンドトン小学校を訪問しました。ここは水事業は終わっていて非常に感謝してい

るとのことでした。幼稚園では道路より低い所に立地しているので、トイレ等の新築かさ上げ工事をグローバル補助金を活用して整備したとのことでした。また水を硬水から軟水に変える処理をしていました。

午後から3330地区大会に参加するために、ナコンシータマラート空港からバンコク・ドムアン空港経由で、ラチャプリーという街に向かい宿泊しました。

18日、午前中、地区大会に参加しまして、午後からはグローバル補助金による医療支援プロジェクトの視察に国立サンプラン病院に向かいました。医療支援は高額のため現地のロータリークラブも複数支援しており、パトンビーチRCもこの事業に単独で5,000ドル拠出したそうです。パトンビーチRCも視察に向かうところで一緒に行きました。

白衣の天使から真っ赤なバラのウエルカムフラワーをいただき、記念写真撮影。その後、会議室に案内されて、国立サンプラン病院の地域の基幹病院としての位置づけや役割の説明を受けました。国立病院ですが、国からの補助金だけでは足りなくて非常に助かっているとのことでした。白内障スクリーニング検査装置は、一人当たり10分程度で可能となり、効率がとてもよくなったとのことでした。また、脳卒中によるリハビリのための最新の医療機器も有効活用されていることが、現地に赴いて初めて認識できました。

夕方には地区大会会場に戻りガバナー主催の晩餐会に参加しました。3330地区は女性会員が半数でとても華やかな会場となり盛り上がりました。改めてこちらの地区のパワーとロータリーを楽しんでいる様子が肌で感じられました。

最終日は観光で、言葉が通じなくてもいろいろ案内していただきました。以上です。有り難うございました。

点鐘



(誤字脱字がございましたらご容赦ください)